



第3回神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会 (J L A 公認競技会) 【 参加選手募集要項 】

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は事業に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「第3回神奈川県ジュニア/ユース ライフセービング・プール競技会」を下記の通り開催します。つきましては開催にあたり参加選手の募集をいたしますので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬 具

記

- 開 催 日：2017年2月12日(日)
- 会 場：平塚総合体育館温水プール(神奈川県平塚市1-1・平塚総合運動総合公園内)
- 主 催：特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング連盟
(特定非営利活動法人日本ライフセービング協会神奈川県支部)
- 後 援：神奈川県・神奈川県教育委員会・平塚市・平塚市教育委員会・一般社団法人神奈川県水泳連盟・特定非営利活動法人日本ライフセービング協会(申請中)
- 協 賛：GUARD SHOP(予定)
- 協 力：平塚市水泳協会・湘南ひらつかライフセービングクラブ(申請中)
- 助 成：スポーツ振興くじ助成「t o t o」

■競技種目：

[個人種目]

- ① 50mジュニアレスキューチューブスイム (小学生 1.2年混合)
- ② 50m障害物スイム (小学生 3.4年女子)
- ③ 50m障害物スイム (小学生 3.4年男子)
- ④ 50m障害物スイム (小学生 5.6年女子)
- ⑤ 50m障害物スイム (小学生 5.6年男子)
- ⑥ 100m障害物スイム (中学生 女子)
- ⑦ 100m障害物スイム (中学生 男子)
- ⑧ 100mレスキューチューブトウ (小学生 3.4年女子)
- ⑨ 100mレスキューチューブトウ (小学生 3.4年男子)
- ⑩ 100mレスキューチューブトウ (小学生 5.6年女子)
- ⑪ 100mレスキューチューブトウ (小学生 5.6年男子)
- ⑫ 100mマネキントウ・ウィズフィン (中学生 女子)
- ⑬ 100mマネキントウ・ウィズフィン (中学生 男子)

[チーム種目]

- ⑭ 4×50m障害物リレー (小学生 3~6年混合)
- ⑮ 4×50m障害物リレー (中学生 女子)
- ⑯ 4×50m障害物リレー (中学生 男子)
- ⑰ 4×50mレスキューチューブリレー (小学生 3~6年混合)
- ⑱ 4×50mメドレーリレー (中学生 女子)
- ⑲ 4×50mメドレーリレー (中学生 男子)

※ チーム種目については1チームから複数組、出場することができます。ただし、同じ選手が複数組に出場することはできません。

- ※ 使用するフィン各自準備してください。なお、安全を考慮し**ゴムフィンのみ**とします。カーボンファイバーやグラスファイバー素材などの硬いフィンは使用不可とします。
- ※ 100mマネキントウ・ウィズフィンの種目については、ハンドラーが必要です。エントリーした競技者の中からハンドラーを選び、競技者と同じチームキャップを着用すること。

■ **タイムテーブル**：後日本連盟ウェブサイト「<http://lifesaving.ne.jp>」に掲載します。
プールの選手入場は 8 時 30 分頃を予定しています。

■ **参加資格**：

- ① 小・中学生で、ライフセービングを志し、保護者の同意を得た健康な男女
- ② 連続して 100m を泳ぐことができる者（プール水深 180 cm）とする
- ③ 参加する種目の練習を十分積むこと

■ **参加費**：申込締め切り日までに振込みをしてください。（入金をもって受付完了とします）

◇ **小・中学生**：3,000 円／人

- ※ チーム種目のみ出場される方も参加費が必要です。
- ※ 欠場や失格、その他理由の如何を問わず、納入された参加費は返還されません。

■ **表彰**：各種目 1 位から 8 位を入賞とします。また、1 位から 3 位までは表彰しメダルを授与します。
なお、チーム総合表彰は行いません。

■ **競技方法**：本競技会規則は、日本ライフセービング協会発刊の「ライフセービング競技規則 2014 年版」に則り行います。ただし、記載のない種目については別に記します。その他、必要な事項については実行委員会にて決定します。

■ **代表者会議**：競技上の注意事項を説明する代表者会議を下記の通り開催いたします。チーム代表者は必ずご出席下さい。やむを得ず代表者が出席できない場合は、必ず代理の方のご出席をお願いいたします。

○日時：2017 年 2 月 12 日（日）8 時 40 分予定

○場所：大会会場会議室

■ **交通**：電車・バスなどの公共交通機関をご利用下さい。お車でご来場される場合は、駐車場には台数に限りがございますので、お乗り合わせの上ご来場ください。

■ **お申込方法**：「①チーム登録・チーム種目申込書」と「②個人種目エントリー」の 2 つの手続きが必要です。どちらか一方の手続きだけでは受け付けられませんのでご注意ください。

申込締め切り日：2017 年 1 月 15 日（日）23：59

① チーム登録・チーム種目申込書 ※チーム代表者が行ってください。

本連盟ホームページより「申込用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、期日までに以下アドレスまで送付してください。

- 1) ファイル名は必ず「クラブ名（LSC などは不要）」をつけて保存してください。
- 2) メール送信時、件名欄には必ず「クラブ名」を記入してください。
- 3) チーム種目への参加申込は、「チーム登録・チーム種目申込書内」のチェック欄に出場するチーム数を選択してください。1 つのチーム種目に 3 つのチームが出場する場合は「3」を選んでください。

- 4) リレーオーダー用紙は、代表者会議で提出していただきます。メンバーの出場選手や順番を変更する場合は、招集時に訂正したリレーオーダー用紙を招集員に提出してください。

- チーム登録・チーム種目参加申込書送信先→ compe@lifesaving.ne.jp
- 送信期限：2017年1月15日（日）23：59

② 個人種目のエントリー ※各個人で行うこと

- 1) お申込みは、「本連盟ホームページ」より「デジエントリー（外部サイト）」から、参加される各個人でお申込み下さい。携帯端末からもご応募できます。
- 2) 参加費のお支払いは、「コンビニ」「ペイジー」「クレジットカード」からお選びいただけます。支払い方法により、手数料が異なりますのでご注意ください。
- 3) 参加費のお振込みをもって受付完了とさせていただきます。「コンビニ」「ペイジー」で支払いをされる方には3日間有効な番号が発行され、その期間支払いしていただくことができますが、締切り前日および締切日に手続きをされますと、翌1日間のみ有効な番号が発行されることとなります。支払期日を過ぎた場合、そのエントリーは無効となりますのでご注意願います。
- 4) 大会2次要綱は、参加申し込み時にご登録いただきましたメールアドレスにご案内し、本連盟ホームページに掲載いたします。携帯端末からご登録いただいた方で、迷惑メール対策をされている方は、「dgent.jp」からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

※ 詳細につきましては、「デジエントリー」サイトにてご確認ください。

【申込み・詳細】 ●神奈川県ライフセービング連盟 ホームページ <http://lifesaving.ne.jp>

■その他：

1. 「ライフセービング競技規則〈2014年版〉」が必要な方は、日本ライフセービング協会事務局 (Tel.03-3459-1445) よりお買い求め下さい。
2. ゴミは各自で必ず持ち帰りましょう。



特定非営利活動法人 神奈川県ライフセービング連盟
(特定非営利活動法人日本ライフセービング協会神奈川県支部)
〒251-0038 神奈川県藤沢市鵜沼松が岡 3-17-1
Phone: 0466-60-2212 FAX: 0466-60-2213
URL <http://lifesaving.ne.jp> E-mail info@lifesaving.ne.jp

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

第3回 神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会参加規定

1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 選手は、大会初日に各競技種目の区分またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 選手は、ライフセービングを志している者とする。

1-3 選手は、自分の出場する種目のルールを熟知していること。

1-4 選手は、ライフセービングの競技であることを理解し、まずは自分の安全を確保するため十分練習を積まなければならない。

2 チーム構成

2-1 チームは地域クラブや学校など、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。

2-2 チーム内からは、必ず大学生以上で責任を持てる代表者を1名選出すること。

3 出場登録

3-1 選手は、あらかじめ所定の申込用紙（データ）を用い出場登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更および未登録種目への出場はできない。

3-2 出場登録は各個人でおこなうこと。

3-3 選手個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

4 ユニフォームおよび競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。

4-3 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

5 表彰

競技種目の上位1位から8位を入賞とする。また、1位から3位は表彰式で表彰する。なお、チーム総合表彰は行わない。

6 参加費

6-1 参加費は、出場する種目にかかわらず選手1名につき、3,000円とする。

6-2 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

6-3 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

6-4 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。

6-5 出場種目の申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

7 競技器材

7-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「第7章競技器材の規格」の基準を満たさなければならない。本競技会使用するフィンにあつては、安全を考慮しゴムフィンのみとする。カーボンファイバーやグラスファイバー素材などの硬いフィンは使用不可とする。

7-2 プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキン、障害物は、主催団体が用意するものとする。

7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

8 競技規則

8-1 「ライフセービング競技規則（2014年版）」に則って行う。

8-2 本大会のスタート方法については、2回制とする。

8-3 50m障害物スイム、100m障害物スイム、50mジュニアレスキューチューブレース、100mレスキューチューブレース、100mマネキントウ・ウィズフィンについては、競技進行上、時間的な制限により、タイム決勝で行う。

8-4 チーム種目において、4×50m障害物リレー（小学生3～6年）、4×50mレスキューチューブリレーにあつては指定された学年とともに男女混合チームを編成してもよい。なお、中学生のチーム種目にあつては男女の混合は認められない。

9 その他

9-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することがある。

9-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。

9-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

  toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。

競技規則

50mジュニアレスキューチューブスイム

(1) 競技人数

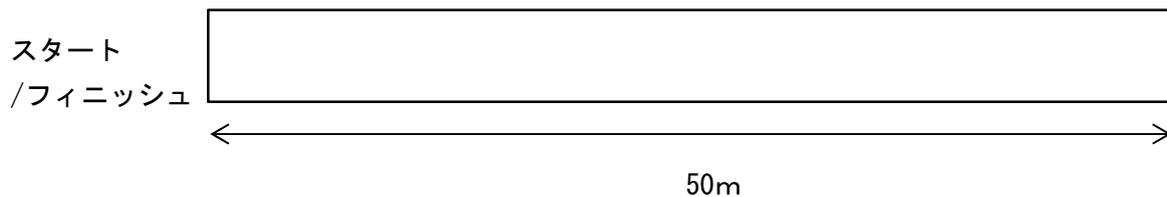
1名

(2) 使用器材

ジュニアレスキューチューブ

(3) コース

ジュニアレスキューチューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



(4) 競技の方法

- ① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。
- ② 競技者はジュニアレスキューチューブをつけ、50m 泳ぐ。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
- ③ ゴールは、競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。

(5) 失 格

総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合（DQ16）。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合（DQ14）。

100mレスキューチューブトウ

(1) 競技人数

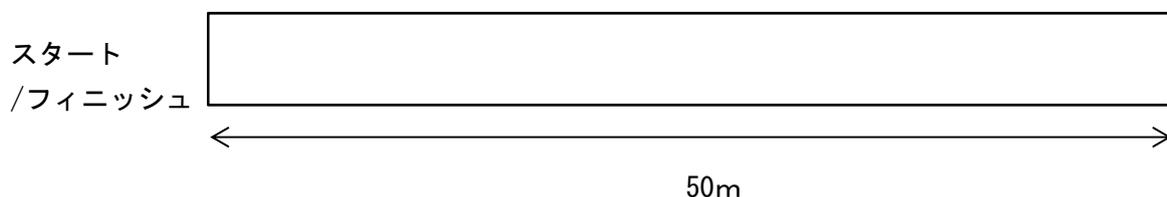
1名

(2) 使用器材

レスキューチューブ

(3) コース

ジュニアレスキューチューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



(4) 競技の方法

- ① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。
- ② 競技者は、レスキューチューブをつけて 50m 泳ぐ。レスキューチューブをつけてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブをつけたスタートが安全にできるようにしなければならない。
- ③ 競技者は、折返しの壁をタッチした後、プールの壁から 5m 以内でレスキューチューブのオーリングとクリップの部分を正しくつけ、ゴールまでそれを引っ張る。
- ④ 競技者は、できるだけ速やかにレスキューチューブの紐を十分に伸ばした状態にしなければならない。
- ⑤ レスキューチューブのオーリングとクリップの部分が途中外れた場合は失格とする。
- ⑥ 50m 地点で壁にタッチする前にレスキューチューブ本体に触れてはならない。
- ⑦ ゴールはレスキューチューブを正しく引いている状態で、はっきりと見えるようにゴールの壁にタッチすること。

(5) 失格

総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合（DQ16）。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合（DQ14）。

| |
|-------------------------------------|
| 4×50mレスキューチューブリレー（小学生 3～6 年） |
|-------------------------------------|

(1) 競技人数

4 名

(2) 使用器材

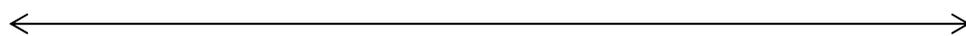
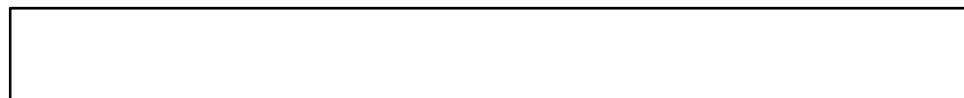
レスキューチューブ

(3) コース

特になし

スタート

/フィニッシュ



50m

(4) 競技の方法

- ① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。
- ② 第 1 競技者は、スタートの合図の後、レスキューチューブをつけてスタート台からスタートし、レスキューチューブを引いて 50m 泳ぎ壁にタッチする。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
- ③ 第 2、第 3、第 4 競技者は、前の競技者がスタートしたら水中に入る。
- ④ 第 2、第 3、第 4 競技者は、少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し第 1、第 2、第 3 競技者が 50m 泳ぎ、壁にタッチしたらレスキューチュ

ープを受け取る。

- ⑤ 第2、第3競技者は、受け取ったレスキューチューブをつけて50m泳ぎ、壁にタッチしたらレスキューチューブを第3、第4競技者に受け渡す。
- ⑥ 第4競技者は、第3競技者からレスキューチューブを受け取り50m泳ぎ、はっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。
- ⑦ ゴールは、競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。

(5) 失 格

総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合（DQ16）。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合（DQ14）。

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

  toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。